

平成25年度事業計画書

社会福祉法人 落穂会 旭福祉センター・第二旭福祉センター

平成24年4月1日より当事業所、旭福祉センター(入所・分場)は、新体系(就労移行・生活訓練・就労継続支援B型・施設入所支援の多機能型事業所)へ移行した。今年度は新法の動向も踏まえつつ、以下の事項を今年度の重点目標に掲げ、質の高いサービス提供を行う。

① 利用者のニーズに合わせた支援の提供

利用者の個別ニーズを作業・生活両面からの視点で的確に把握し、ニーズに合った短期目標・長期目標を支援計画に掲げ、利用者支援の向上を図る。

② 家族との連携強化

年3回の家族代表者委員会、毎年8月の家族総会、1月の新年会など、家族との連携強化の早期の計画立案と実施を目指す。また、新法の動向について家族との情報交換を行う。

③ 職員の育成システムを確立する。

当施設は利用者支援の援助技術および作業の専門技術の向上が業務の両輪となる。よって援助技術・作業技術両面におけるスキルの向上を目指し、職員個々人のスキルアップを目標とした、研修・実習等への積極的参加と社内研修の充実を図る。

④ 人事制度の適切な運用

人材育成を最大の目的とした人事考課制度を軌道に乗せる為、適切な処遇評価を行い各個人のモチベーション向上と支援の質的向上を図る。

⑤ 地域密着型の施設サービス推進

地域に密着した施設を目指し、積極的に地域行事や地域活動に参加する。特に近隣の地域福祉組織との連携を密に行い、地域福祉の増進に寄与する。また、ベーカリー楓・カフェ NODOKA という拠点を活かし、地域との交流を深める。

⑥ 各種作業部門 製販計画の達成

今年度は更なる効率化と役割分担の明確化を促進し、職員が一丸となり製販計画の達成を目指す。(各作業部門の重点目標は以下の通り)

25年度 各作業班重点目標

※カフェ NODOKA

重点目標・・・集客率アップ(接客支援・宣伝・広告等)

① 利用者支援(接客・清掃)

② 宣伝・広告・ブログ作成(行事ごとにベーカリー楓含め検討・実行)

- ③ 報連相確・棚卸しの徹底
- ④ 各行事（バザー・夏祭り等）の計画・実行・反省

※味噌

重点目標・・人材育成・衛生管理

- ① 人材育成（利用者・職員）
- ② 衛生管理
- ③ コスト意識
- ④ 移動販売の実施

※竹工

重点目標・・支援の充実と向上

- ① 報連相の徹底
- ② ケース会議の実施
- ③ 作業効率の向上
- ④ 情報の共有と安全管理
- ⑤ 利用者支援の充実

※蔬菜

重点目標・・協力体制の確立

- ① 全職員での協力体制の確立
- ② 利用者支援の充実
- ③ コスト意識

※菓子・楓

重点目標・・技術向上（商品開発・接客） 報連相確の向上（共通意識）

- ① 新商品の開発
- ② 利用者支援の充実作業工程の見直し
- ③ 報連相の徹底
- ④ コスト意識の向上

※陶芸

重点目標・・新商品の開発

- ① 商品の開発
- ② 利用者支援の充実

※園外実習

重点目標・・実習担当者との連携強化 実習先の選定

- ① 情報収集
- ② 利用者支援の充実
- ③ ハローワーク、障害者雇用センターの活用

※メンテナンス

重点目標・・人材育成・作業の安定

- ① 人材育成
- ② 作業の安定
- ③ 医療関連サービスマーク書類整備・作成